

追 悼

当会副代表 太田昇におかれましては、去る3月12日午前8時37分、
79歳を帯ってご逝去されました。

生前のご功績に深く感謝の意を表し、心からのご冥福をお祈り致しますと
ともに、ここに、謹んでご報告致します。

北海道サケネットワーク

代 表 浦 野 明 央

ほ か 役 員 一 同

【経過】

08年度総会、並びに、サケ会議の開催について、前年の総会で太田氏から、帯広開催の提案があり、10月11日に、音更町ホテル大平原を会場に行いました。その準備では、太田氏を中心に「とちかち・帯広サケの会」関係の方々の大変なご尽力を得ておりました。

その太田氏が体調を崩されたと伺ったのは開催も間近い頃でした。総会の当日は、入院されていて、会議への出席は叶いませんでしたが、病状は軽いとの情報でした。

年明けてからも、病状は軽く、間もなく退院か、との情報に安堵していたところです。

葬儀は、本人の希望で内輪での葬送が行われました。

このような経過から、関係者は、あらためて偲ぶ会を行うこととして準備を進めており、会員皆さんへのお知らせも、延びておりましたこととお詫びします。

太田昇さんを偲ぶ会 終わる

当会では、「太田昇さんを偲ぶ会」発起人代表から、6月14日（日）開催する旨ご案内を頂いており、追悼文を献上致しておりました。

この度、偲ぶ会が120名を超える参会者により、盛大に、また、無事に举行されたことのご報告を、式典の式次第、CD、新聞報道記事、などを添えて頂きました。

それを拝見するにつけても、太田さんが、十勝川をホームラウンドに、いかに、自然に熱情を捧げ、青少年の育成に心を砕いたかを知る思いが致します。そして、参会した方々の言葉からも、その意思と熱い行動力は、綿々と受け継がれているものと拝察致します。

ご冥福を心からお祈りしますとともに、十勝地区の活動がますます発展されることを希念致します。

なお、この会とは別に、活動を共にした方々による「太田昇さんを偲び語る会」が6月20日に盛大に行われたとの報告も頂いております。

【太田さんの記録】 1931年10月30日生まれ

《職歴》 川西村立川西中学を始め、帯広市内の中学3校に奉職、
同市第八中学を最後に、92年、38年間の教職を退任。

《活動歴》

- ’85年 「植村直己・帯広野外学校」開校、活動に尽力
- ’95年 帯広サケの会 会長
- ’96年 とかち帯広観光・体験ボランティアガイドの会 会長
- ’99年 「NPO法人」帯広NPOサポートセンター専務理事
- ’02年 「子どもの水辺活動」を提案
- ’04年 「RAC全国協議会」副代表「CONE」日本自然体験協議会トレーナー
- ’05年 「川に学ぶ体験活動」東北北海道協議会 代表理事
- ’06年 北海道ボランティア連絡協議会 副会長
北海道サケネットワーク 副代表

《受賞》

- ’92年 水環境賞
- ’06年 北海道観光ボランティア連絡協議会会長賞

《著書・寄稿》

- ・ おびひろサケの会 10周年記念誌
- ・ とかち「水辺の楽校」の手引き
- ・ 川と出会うために
- ・ 水辺に元気づくり（十勝の川）
- ・ 「十勝の川」生物付き図鑑
- ・ 「十勝」の全ての人々にやさしい川づくりの考え方
- ・ 時を超えて十勝川を旅しよう